

2022 年度 実世界情報演習 1 第 9-12 回

ディベート（前半）

目的

ディベートを通して、以下の能力を養う。

- 論理的思考力
- 瞬時に考え判断する能力、瞬発的思考
- 批判的思考力
- 発信力・・・短時間で的確に主張を行う能力、意図を的確に伝える構成力、説得力のあるプレゼン原稿の作成力
- 傾聴力・・・問題意識を持って聞く能力

授業スケジュール

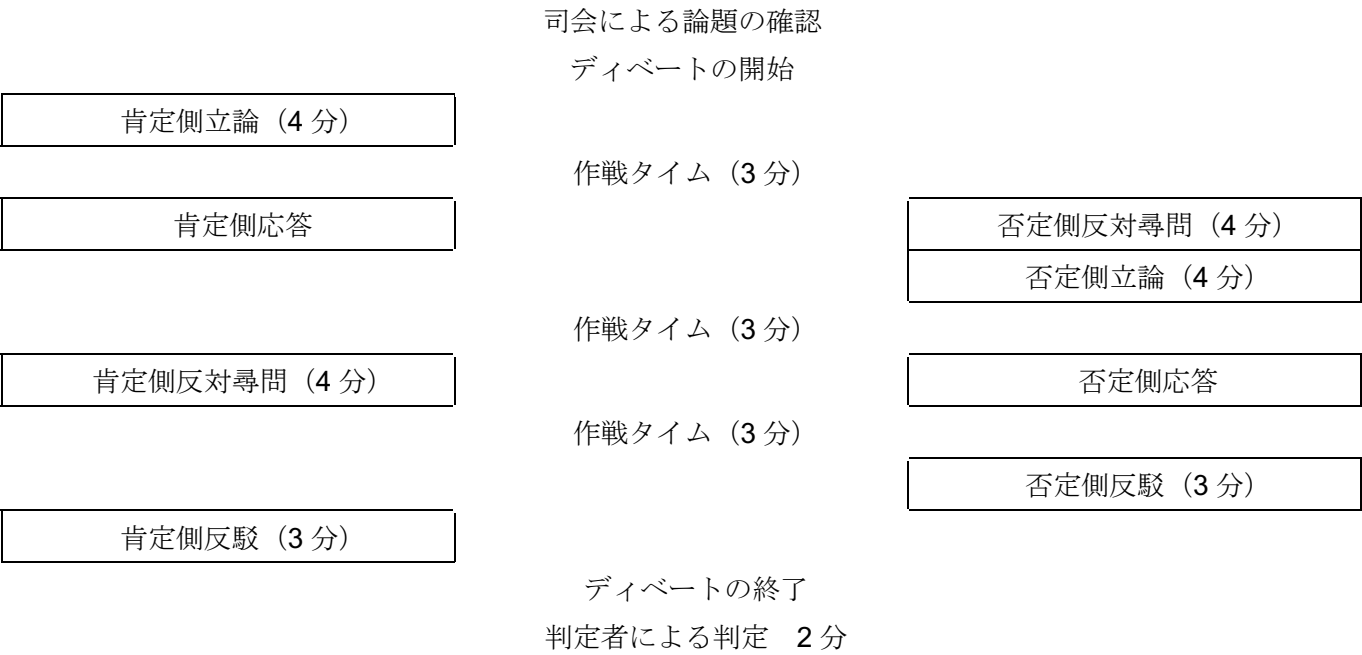
第 9 回 11/24	オリエンテーションと課題紹介	授業の目的 ディベートのビデオを見る ルールの確認 議題の紹介 ルール説明 プランの説明と作成	5 分 5 分 20 分 10 分 10 分 30 分
第 10 回 12/1	ディベートの準備	各班のプランの発表 プランの再検討 再度、ルールの確認 ディベートの準備	10 分 5 分 10 分 65 分
第 11 回 12/8	ディベート 1 回戦（第 1,2 試合）	第 1 試合 第 2 試合 まとめ	40 分 40 分 10 分
第 12 回 12/15	ディベート 1 回戦（第 3,4 試合）＊	第 3 試合 第 4 試合 まとめ	40 分 40 分 10 分
第 13 回 12/22	ディベートの準備	プランの作成と確認 ディベートの準備	25 分 65 分
第 14 回 1/12	ディベート 2 回戦（第 1,2 試合）	第 1 試合 第 2 試合 まとめ	40 分 40 分 10 分
第 15 回 1/19	ディベート 2 回戦（第 3,4 試合）＊	第 3 試合 第 4 試合 まとめ	40 分 40 分 10 分

＊はレポート

対戦表

第 1 戦		肯定	v.s.	否定	テーマ	判定+講評	
12/8	第 1 試合	1 班	v.s.	2 班	1	判定 3-8	講評 5-8
12/8	第 2 試合	3 班	v.s.	4 班	2	判定 1,2,5-8	講評 5-8
12/15	第 3 試合	5 班	v.s.	6 班	3	判定 1-4,7,8	講評 1-4
12/15	第 4 試合	7 班	v.s.	8 班	4	判定 1-6	講評 1-4

ディベートの進め方



判定方法

4 班 ×2 ポイント+教員 1 名×3 ポイント+TA 2 名×2 ポイント=15 ポイント

判定者からの講評 30 秒×4 班

- ※教室ごとに評価点の変更あり
- ※班員全員が立論、応答、反対尋問、反駁のいずれかを担当すること

ポイント

- 立論では主張のポイントを明確にする。肯定側の立論は①プラン（言葉の定義も含む）②プランから生じるメリットを示す。否定側は肯定側のプランに従ってそのプランから生じるデメリットなどについて論じる。メリットやデメリットがどういう重要性や深刻性を持つのか、またそれがどういう発生過程をもって生ずるのかなどをわかりやすく述べる。
- 尋問する側は、相手の主張がいくつあり、何を根拠にしているかを的確に聞き取る必要がある。それをもとにその信頼性などについて質問によって確かめつつ相手の論の弱点を明らかにする。実例や実際のデータ等を示して質問するのもよい。尋問に応答する側は、あらかじめ質問を予測し、回答を準備しておくことが大切である。
- 反駁では、自チームの主張と相手チームの主張の優劣を比較しながら相手チームに反論し、自チームの主張の有利な点を述べる。
- 聴講側は、配布する 対戦メモシート に対戦の状況を記載して、レポートに備えること。

プランの作成

論題に掲げた内容をより具体的に述べる。必要に応じて論題で使っている語句についての定義も述べる。肯定側がプランを作成し、否定側と合意を得る。プランがあいまいだと議論が噛み合わないため、詳細なプランを作成することが重要である。-> **12/7（水）までに各班毎に Manaba-R に事前提出すること**

（例 「大学図書館に漫画本を置くべきである。」のプラン）

- 図書館に置く漫画本は単行本のみとし、学生希望アンケートの結果をもとに購入を決定する。
- 漫画本は図書館内のみでの閲覧とし、貸し出しは行わない。
- 漫画本の購入は、新たに購入する他の書籍の 100 分の 1 以下とする。

今年のテーマ

1. 日本は、大学を含む学校の入学と卒業時期を 9 月に変更すべきである。
2. 日本は、大学入試の英語科目を TOEIC にするべきである。
3. 日本は、SNS を利用するときには本名にすべきである。
4. 日本は、（紙幣や硬貨を廃止し）通貨を電子マネーにすべきである。

評価

- ディベート対決における担当役割の主張について
- 課題後のレポート

レポート

内容：自分の役割とその成果、ディベートの結果と反省点、感想

体裁：A4, PDF ファイル

提出先：manaba+R

締切：**12 月 21 日（水）17：00**

※各担当教員の指示に従うこと

	3	2	1	0
フォーマット	——	——	フォーマット通りに書かれている	フォーマット通りではない
誤字・脱字	——	——	誤字脱字がない	誤字・脱字がある
1. 自分の役割とその成果について	——	自身の役割と成果について詳細に書かれている	自身の役割と成果について書かれている	内容が書かれていない
2. ディベートの結果と反省点（自チームの結果・考察）	ディベートの結果と反省点が詳細に書かれている	ディベートの結果と反省点が書かれている	ディベートの結果もしくは反省点のいずれかが書かれている	内容が書かれていない
3. 他のチームのディベートについて（全体の結果・考察）	——	ディベートの結果と反省点が詳細に書かれている	ディベートの結果と反省点が書かれている	内容が書かれていない
4. 感想	——	——	感想が書かれている	感想がない

班分け

4 人×8 班×2 回（2 回目の班構成は第 13 回目で発表する）

D1

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班
池上 誓哉	岡田 隆志	近藤 孝宣	栗飯原 彩瑛	板垣 良摩	七條 大和	高木 翔理	浅見 美裕
仮屋蘭 純	熊澤 七音	辻 七海	太田 怜志	尾崎 真央	長張 快	丸橋 和弥	岩崎 勇人
木越 湧太	棚橋 柊太	丹羽 一貴	坂本 優真	園山 佳典	廣澤 考治	皆川 最	加藤 哲平
西本 一翔	橋本 爽颯	若野 直人	細谷 龍平	竹内 咲花	藤井 愛奈	山下 健吾	久保田 翔帆
	ZHU Junjie		前野 佑太朗	森 雅史		JIN Jianlin	文元 朝陽

D2

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班
石田 隼也	小川 真由	齊藤 楓太	浅野 健太郎	一筆 一留	苑原 駿希	高木 紳吾	荒木 颯吾
河村 倫輝	小西 真結	中村 遼平	大橋 萌菜	柿本 聖弥	西井 大樹	光島 愛	上田 潮
楠本 悠人	塚 春輝	橋本 涼香	森田 勝之	高井 日美暉	福島 博哉	本橋 一貴	加藤 耀壱
西森 結衣	原田 豪	渡邊 出琉	松野 菖	武谷 謙吾	藤吉 さと子	米澤 正真	久保田 学
				澤田 暉月	穂積 佳歩	章 瑞辰	細川 洋嵩